



自主防災組織による 避難の呼びかけ体制づくりを支援します！



避難の呼びかけ体制とは？

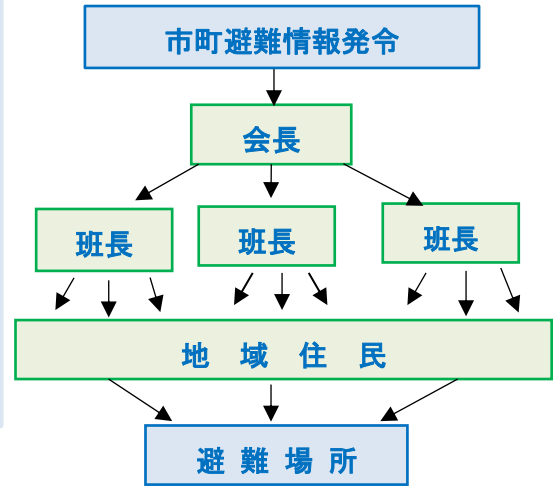
大雨災害時などに、住民に早めの避難行動を促すため、住民同士が避難を呼びかけあう仕組みのことを言います。

平成30年7月豪雨災害では、危険と思いながらも避難行動を取らなかった人が多くいました。

一方で、広島県が行った調査によると、家族や顔見知りの人から避難を呼びかけられることで、避難行動を取りやすくなることがわかりました。

避難の呼びかけ体制をつくり、災害から地域を守るためには、自主防災組織がとても重要な役割を果たします。

避難の呼びかけ体制イメージ



避難の呼びかけ体制をつくるには？

避難の呼びかけ体制づくりは、以下の5つの Step を基本として進めていきます。

Step 1：防災意識の醸成

体制づくりのはじめとして、まずは、気象情報や避難情報など防災に対する理解を深めていきます。

具体的な取組
防災講演会

Step 2：地域性の把握

地域にどのような災害リスクがあり、どこが危険でどこが安全か、地域の状況を把握します。

具体的な取組
災害図上訓練

Step 3：呼びかけ体制づくり

「呼びかけのタイミング」や「呼びかけの方法」など避難の呼びかけ体制に必要なルールをつくります。

具体的な取組
ワークショップ

Step 4：呼びかけ体制の実践

Step 3 でつくった呼びかけ体制が実際に機能するか、訓練による実践確認を行います。

具体的な取組
避難訓練

Step 5：呼びかけ体制の検証

Step 4 で実践した訓練を振り返り、より円滑で確実な呼びかけ体制になるよう改善を図ります。

具体的な取組
振り返りワークショップ

- すでに実践している取組がある場合は、次の Step に進んでください。
- 地域の実情にあわせて、Step の順番を替えて実施したり、Step 2 と Step 3 を同日に行うなど、各 Step を組み合わせて実施してもかまいません。
- 連絡網を作っておくと、構築が進めやすくなります。



セミナーの様子



災害図上訓練の様子



ワークショップの様子



避難の呼びかけ体制づくりを支援します。

支援内容① あなたと地域の避難行動計画づくりセミナーを開催します。

「自主防災組織による避難の呼びかけ体制づくりマニュアル」や「ひろしまマイ・タイムライン」を使い、避難の呼びかけ体制づくりの進め方や個人の避難行動計画の作成方法を説明します。



支援内容② 広島県自主防災アドバイザーを紹介します。

防災講演会やひろしまマイ・タイムラインに関する講座などの講師をお探しの場合は、広島県にご連絡ください。

《広島県自主防災アドバイザー紹介ホームページ》

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/5/jisyubousai-adviser.html>



支援内容③ 災害図上訓練を一齐に行います。

広島県自主防災アドバイザーの指導のもと、複数の自主防災組織を集めて、それぞれの自主防災組織の災害図上訓練を一齐に行います。



支援内容④ 避難の呼びかけ体制づくりワークショップを一齐に行います。

広島県自主防災アドバイザーの指導のもと、複数の自主防災組織を集めて、避難の呼びかけ体制に必要なルールを検討するワークショップを一齐に行います。

自主防災組織による避難の呼びかけ体制づくりの支援イメージ

支援内容

①あなたと地域の避難行動計画づくりセミナーの開催

自主防災組織の取組

Step1：防災意識の醸成

Step2：地域性の把握

Step3：呼びかけ体制づくり

Step4：呼びかけ体制の実践

Step5：呼びかけ体制の検証

②広島県自主防災アドバイザーの紹介

③災害図上訓練の一齐実施

④避難の呼びかけ体制づくりワークショップの一齐実施



《支援内容に関するお問い合わせ先》
広島県消防保安課
TEL：082-513-2790
FAX：082-227-2122

《実施に関するお問い合わせ先》
福山市危機管理防災課
TEL：084-928-1228
FAX：084-926-0845